

β版について（2021年4月時点）



- 選択可能な設備・省エネ対策等は下記のとおりです。
 1. 地域
 2. 世帯人数
 3. 熱源機(給湯専用型)の種類：「電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機」以外の6種類
 4. 配管方式の評価方法
 5. 水栓の評価方法
- 計算結果は下記の項目がサイト上でグラフ表示され、csvファイルをダウンロードできます。
 1. 年間エネルギー種別消費量
 2. 月別エネルギー種別消費量
 3. 時刻別エネルギー種別消費量：代表日として8月1日と12月1日の結果を表示
- 上記以外の設備・省エネ対策等は今後、計算できるものを公開していく予定です。